

岡山県障害福祉課・医薬安全課との意見交換会開催！！

〈日時・場所〉：平成30年11月23日（木）、16時～17時10分

きらめきプラザ7階 702号室

〈出席者〉：岡山県

【障害福祉課】片山課長、内藤班長

【医薬安全課】稲家班長

岡山県腎臓病協議会

木畑理事長、西中理事、宮本事務局長、川崎（事務局）



〈片山課長挨拶〉

今年度は災害の対応ということで大変な被害が生じ、まだまだ復興これからといった感じです。今日はそのあたりも含めて、ざっくばらんな意見交換会ができればと思っている。

〈腎疾患総合対策に関する主な要望事項〉・・・宮本事務局長

1.岡山県身体障害者医療費公費負担制度

- ①所得制限、『老齢福祉年金（所得額 1,595 千円）』の準用は改善を要望。
- ②健康保険制度による世帯合算の適用。
- ③特に働く世代が使えるような制度として欲しいと要望。所得区分の改善要望。
- ④新規 65 歳からも対象要望。

2.CKD 対策の強化

- ①腎臓病、特に糖尿病性腎症の予防対策、透析治療に至らないための啓発活動。
- ②重度化予防のための、ピア相談事業への予算計上要望。

3.臓器移植推進のための啓発、広報活動を引き続き継続要望。

4.災害時の緊急体制の確立

- ①大規模災害発生時、透析患者の安全確保と医療の保障。
- ②透析医療の確保。
- ③患者の安否確認と避難支援、医療情報の提供体制の確立。
- ④避難生活において、鳥取県では当事者が『災害時アドバイザー』として配置。岡山県でも、同様の対応を要望。
- ⑤災害時要援護者リストの事前作成。当該対象者への、安否確認、個別支援対策等、岡山県側から、行政・医療機関等への働きかけを要望。

〈西日本豪雨災害の対応について〉

この度の災害発生時、極めて早い段階で岡山県が、ホテル側との連携で、避難者受入れの動きをしていただいたことは、本当に有りがたく思い、心より感謝しています。（木畑理事長）

ホテル対応については、窓口は、県の生活衛生課で、旅館業組合との提携により、いざというときは提供をもらう仕組みを作っていた。ただ、このような制度が浸透していないため、私も避難所を回り広報活動を行う中で、高齢者とか、障害者とか困っている方たちを中心に声をかけさせてもらった。要支援者リストについては、義務化はされているが、運用面で諸々の問題がある。行政の中だけでは出来ないこともあり、今後は、地域の方々、患者団体、障害者の団体など、各組織の連携が大事だと思います。（片山課長）

